



物質化学工学科5年 岩井田 晃次

私たちはこの5年間の高専生活で学内行事、部活動の大会や発表会、卒業研究発表など、たくさん
のことを経験し、それを乗り越えてきました。私がこの5年間で得た一番大切なことは、人の大切さで
した。最もそれを感じたのは3年から部長として毎年従事した高専祭での物質化学工学科展でした。人の
上に立つことに不安を覚え、人数集めをしても人が集まらず、どうすれば良いのか途方に暮れていま
した。友人に相談すると、「いつもお世話になっているから手伝うよ。」という言葉をかけてもらい、友人
は大切なものだというのを改めて認識しました。人が集まった後は、科展を成功させるためにメンバ
ーと日々話し合いを重ね、協力した結果、2年間の科展を無事に乗り越えることができました。相談でき
る友人、共に切磋琢磨できる仲間がいたからこそ今の自分がいると思います。私は高専で手に入れた
大切な「人」という宝物をこれからの人生で大切にしていこうと思います。

私たちはこの5年間で得た経験や知識を生かして進学、あるいは社会へと旅立ちます。最後になりま
したが5年間私たちの成長を、暖かく見守って下さった先生方にここに深く感謝を申し上げます。ありが
うございました。



Are you ready
to open a new door?



卒業研究発表を終えて

物質化学工学科主任 嶋田 豊司

卒業おめでとうございます。

専攻科の皆さんは7年間、本科の皆さんは5年間で奈良高専で学びました。高専でしか経験できない多くの
ことに出会えたはずで、これからの約40年間、社会で活
躍できる機会を得ました。10年後、20年後、そして30年
後の自分の姿を思い描いてみて下さい。果敢にアタック
して日本を支える一員になると言う気概を持ってくださ
い。結果は必ずついてきます。皆さんの活躍を見ること
が我々の最大の楽しみでもあります。さあ、出発です!



専攻科 修了おめでとう

機械制御工学専攻2年 青 笹 功



長いようで短かった専攻科での2年間。流れに
任せて進学した私ですが、今では専攻科を選んで
良かったと感じています。私にとって専攻科最大の
魅力は、他学科との共同科目や学外の方の講演会
が多いことでした。物事に対する視野を広げ、自分
の専門分野以外にも本気で興味を持てる分野を
見つけることができました。専攻科へ進まれる皆
さんには、是非そういったものを見つけて頂ければと思います。

最後になりましたが、長い間ご指導下さった教職員の皆様、先輩方、
同級生、そして講義のため学外から来て頂いた皆様に、深く御礼申し
上げます。

化学工学専攻2年 大下 果波



始まった!と思えばすぐ終わる、そんな本科の生
活とは違い、たんとと研究をする長い長い専攻
科生活の中で私が身につけたのは、時間の使い
方でした。専攻科の授業のほとんどは選択制。時
間割表とにらめっこをするのが専攻科の中で1番
重要な仕事でした。時間を有効活用し、研究に励
み(海外で研究発表行いました!)、就活に励み(40
社落ちました!)、授業はほどほど、遊びは真剣。呆れもせず見守って下
さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。頼りない学友会会長
でしたが、支えてくれた皆様、今まで本当にありがとうございました。

電子情報工学専攻2年 宮本 拓弥



奈良高専の学生生活はクラブにも勉学
にも充実した7年間でした。また、技術者
になる目標に1歩も2歩も近づくことが
できたと思います。

専攻科の2年間は特に研究や発表に打
ち込み、有意義な学生生活を送ることが
できました。これから進学し、社会へ出た
とき、高専で培ったことを実践で役立てたいと思います。

ご指導いただいた先生方々、共に学んだ仲間達に感謝致し
ます。本当にありがとうございました。

専攻科長 押田 至啓

奈良高専専攻科修了おめでとうございます。

社会では技術が高度化し、より多岐にわたる能
力と独創性を持った若い技術者が必要とされて
います。まさに、皆さんが高専本科・専攻科を通じて
培った高度でかつ実践的な技術力、開発能力が望
まれており、活躍の場が準備されているのです。
持てる力を十分に発揮し、日本はもとより国際的に
大いに活躍することを期待するとともに、幸多かれ
と祈ります。

